

府立茨木支援学校



テーマ:教科指導で今つきたい力～深い学びの鍵(教科ならではの見方や考え方)の使い方

概要

「深い学びの鍵」をキーワードにした授業づくり

教科指導に焦点を当てて、各教科の目標設定や評価について取り組みました。小学部「音楽」、中学部「音楽」、高等部普通課程「音楽」、高等部生活課程「国語」の4つの研究授業・研究協議を中心に「教科の見方・考え方を使った教科指導」の実践について検討するとともに、日々の授業をチームで改善する取り組みとして「チーム制」を設定し、校内の授業改善を推進しました。

実施スケジュール

Research

4月下旬

管理職、研究部、担当指導主事で、今後の進め方について打合わせ

Vision

8月18日(火)

全体会 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から研究部・授業者のみで実施)

テーマ:「深い学びの鍵について」

Plan

9月上旬～

学習指導案の作成・検討

Do

9月上旬

授業見学(4回実施)

10月中旬～11月中旬

事前授業・授業後の協議(4回実施)

12月8日・10日(木)

研究授業・研究協議(4回実施)

9月～1月末

授業改善期間

2月9日(月)

授業改善期間総括

Check & Act

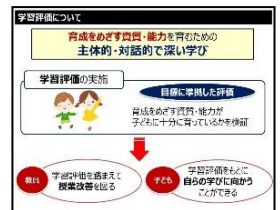
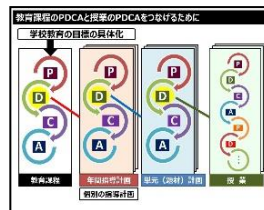
1月下旬

アンケート集約

全体会

8月18日(火)「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」

支援教育推進室指導主事より



学習指導要領の改訂を主軸に、子どもたちがこれからの社会を生きていく上で必要となる資質・能力とは何か、また、それらの資質・能力を育むための授業改善のポイントについて研修をしました。深い学びの鍵となる「教科の見方・考え方」をどのようにとらえて、授業をつくっていくのかを考えました。

研究授業(1)

学年・教科: 小学部1年 「音楽」(うたリズム)
 単元名: 「音を聞こう」

研究協議のポイント

「一つひとつの音に気付く・聞く」

音が鳴っていることに気付く、自分で鳴らそうとする、好きな音色を見つけるという活動の中で、子どもたちの学びの様子から、いかに「聞いている」と見取るのかを協議しました。



研究授業

(2)

学年・教科： 中学部1年 「音楽」
 単元名： 「和太鼓をたたこう」



研究協議のポイント 「主体的な学びを引き出す」
 曲の選び方、リズム(課題)の設定、楽器のセッティング等について、どのように設定していけばより生徒の「やりたい」という気持ちや動きを引き出すことができるかを協議しました。

研究授業

(3)

学年・教科： 高等部普通課程3年 「音楽」
 単元名： 「友達と協力して楽曲を表現しよう」



研究協議のポイント 「つながりを意識した音楽づくり」
 生徒たちがリレーで楽器を演奏していくという今回の教材を通して、生徒たちが「クラスメイトとのつながり」「自分の役割」を意識するには指導者がどのように生徒を支援していけばよいのかを協議しました。

研究授業

(4)

学年・教科： 高等部生活課程3年 「国語」
 単元名： 「みんなでそろえよう!ものビンゴゲーム」



研究協議のポイント 「文字に興味をもってほしい」
 グループの生徒たちが知っているもの、興味のあるもの、身近なものを「文字」と結びつけるためには、どのような授業展開、教材設定をすればいいのかを協議しました。

成果

<校内の体制づくり>

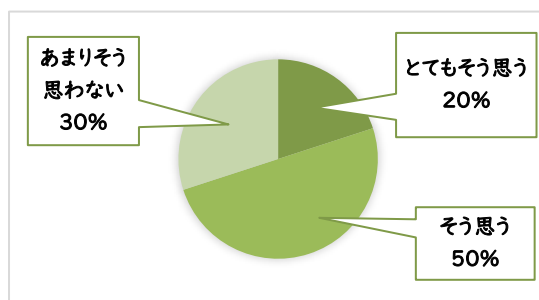
授業改善期間を活用し、授業者及び各授業を担当する教員でチームとなり、授業改善に取り組みました。研究協議では、「指導・支援の工夫」「今回の授業を今後はどうつなげるか」について協議し、各自で記入したポイントをホワイトボードに貼り出して、意見を整理し全体で内容を共有しました。

<深い学びの鍵 教科の見方・考え方>

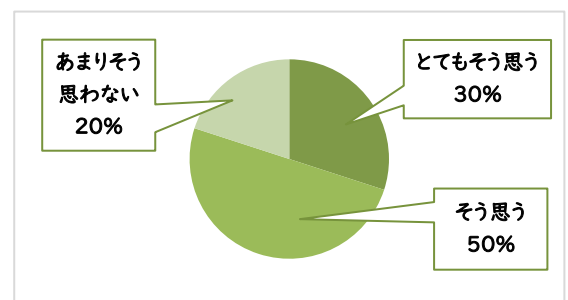
関係者全員で授業のビデオを見て振り返り、授業のどこに教科の見方・考え方を働かせる場面を設定できるかを考えました。教材の提示方法や説明、子どもたちの様子をフィードバックする際の指導者の言葉がけなどどんな風に改善したらよいだろうかを検討し、次の授業に生かすことができました。

アンケート
結果

① 学校のニーズにできていた



② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想やご意見より)

- パッケージ研修支援を受けることによって、授業の話をたくさん聞くことができました。研究部、指導教諭の先生方と目標設定から話ができ、授業を進めるうえで悩んだ時に目標設定に立ち返ることで、進む方向性を再認識しながら授業計画を立てることができました。また細かな点も含めて相談しながら授業計画を立てることができました。自分一人では考えつかないことを助言していただき、たくさんの学びがありました。たくさんの先生にも経験してほしいと思います。
- 今年も大変勉強になりました。でもとても難しいことが山ほどあって、どこから手をつけたらよいのか、目の前で起きていることに直接介入してもなかなか解決の糸口が見つかりません。今回の成果や反省を次に生かすにはどうすればいいか、校内で検討することはもちろんですが、ここにもアドバイスがいただければと思いました。今回も多大なご指導・ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。